

科目名		授業形態	担当教員名	
解剖・生理学Ⅰ		講義	本間 志保	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
人体の成り立ちを理解するために、体の構造と組織・発生に関する基本的知識を習得することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 身体の一部（区分）と方向用語を正しく説明できる。 2. 細胞・組織・器官の関係性を説明できる。 3. 全身の構造を器官系ごとに分けて説明できる。 4. 人体の発生の概略を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	解剖学総論：解剖学とはどのような学問か、人体の区分と名称、方向用語			
2	細胞と組織：細胞の構造、細胞分裂、組織とは何か			
3	骨学：骨の発生、基本構造、全身の骨			
4	筋学：筋の構造、分類、各部位の筋			
5	まとめ・練習問題			
6	消化器系：消化吸収に関わる器官の名称と構造			
7	脈管系：血管の基本構造、心臓の構造、全身の動静脈、リンパ系			
8	感覚系：皮膚粘膜の感覚器の構造、特殊感覚器の構造			
9	神経系：神経系の基本構造、中枢神経系、末梢神経系			
10	まとめ・練習問題			
11	呼吸器系：呼吸に関わる器官の名称と構造			
12	泌尿生殖器系：泌尿器の構造、男性生殖器、女性生殖器の構造と仕組み			
13	内分泌系：内分泌とは何か、内分泌器官の名称と構造			
14	人体の発生：発生に関わる細胞、受精卵から胎児となり出生に至るまでのあらまし			
15	まとめ・練習問題			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%	解剖学についての正しい知識を習得できているかを評価基準とする。		
レポート・課題	20%	課題への取り組み姿勢、結果をもとに評価する。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学		全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				